

平成17年度 教職10年目研修
事後アンケート集計結果

平成19年3月

栃木県総合教育センター

1 目的

平成17年度教職10年目研修が終了し一定期間を経過した後に、研修成果を調査・分析することにより、研修内容の充実を図る。

2 対象

平成17年度教職10年目研修（小・中・県立学校）の研修教員と勤務校の校長。ただし、宇都宮大学教育学部附属小・中・養護学校の研修教員は除く。

小・中学校 校長111名、研修教員146名
県立学校 校長 56名、研修教員 88名

3 実施時期

平成18年6月～10月

4 内容

【アンケート結果 小・中学校】

【アンケート結果 県立学校】

【まとめ 小・中・県立学校】

【資料】

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート 様式 （校長用）

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート 様式 （研修教員用）

教職10年目研修（県立学校）事後アンケート 様式 （校長用）

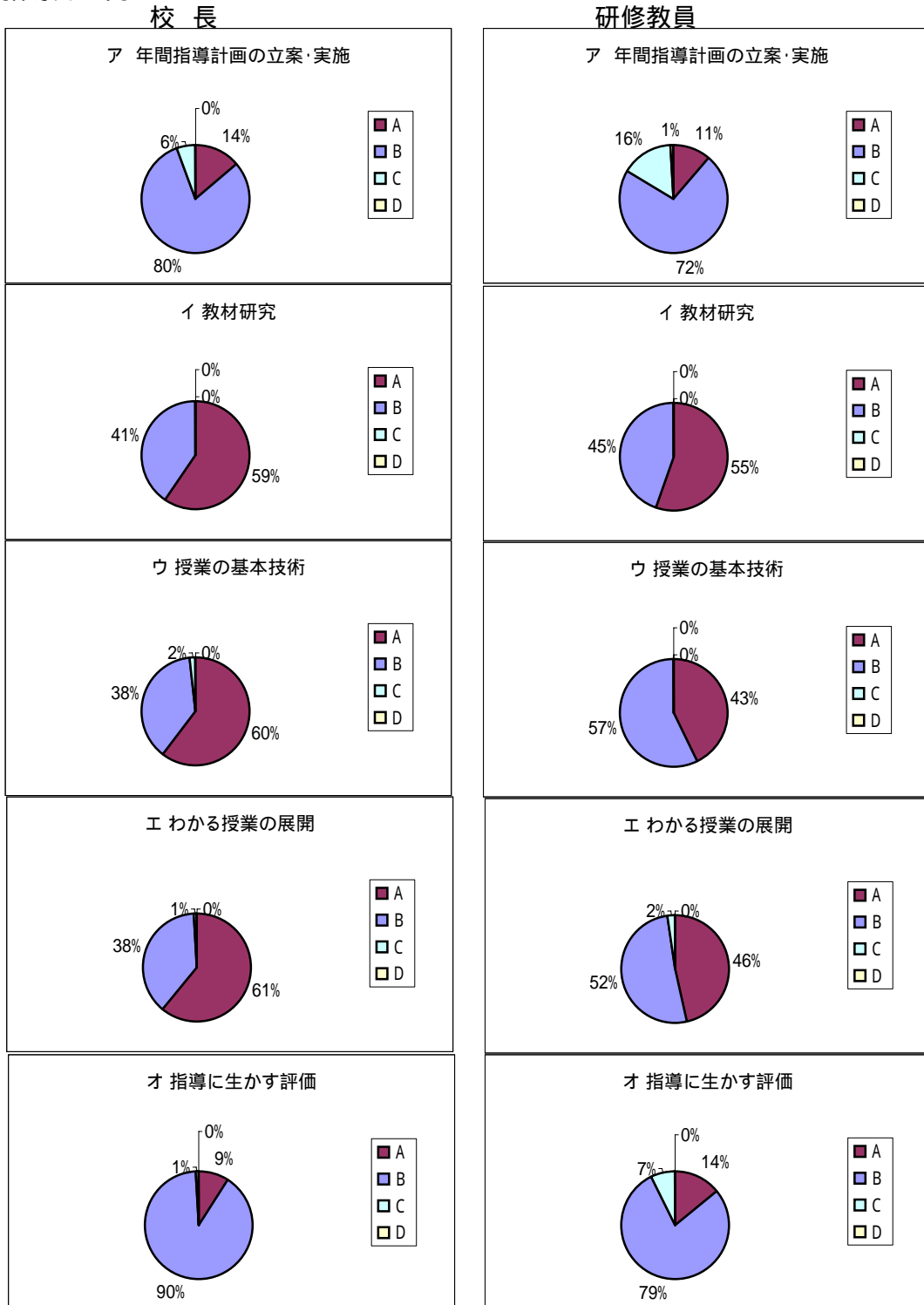
教職10年目研修（県立学校）事後アンケート 様式 （研修教員用）

【アンケート結果 小・中学校】

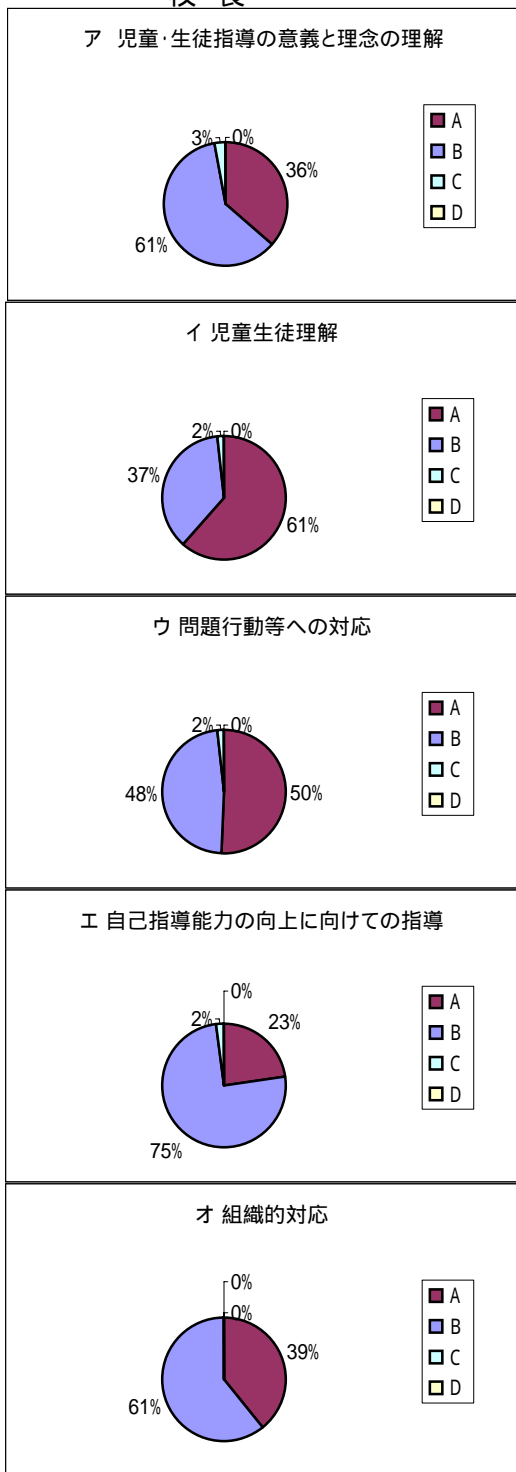
1 本研修を終了した研修教員が、個々の課題に応じて実施した研修の成果を、現在の指導に生かし、指導力が向上しているか。(回答者:校長・研修教員)

- A かなり生かしている
- B ある程度生かしている
- C 生かしていない
- D 全く生かしていない

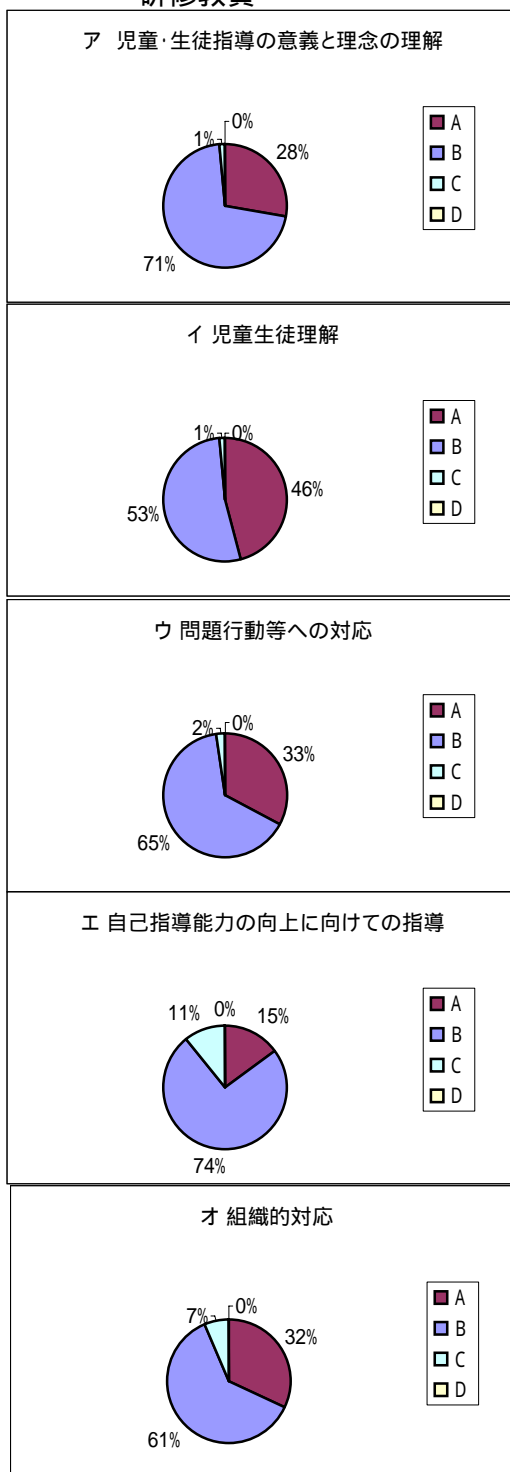
(1) 学習指導力の向上



(2) 児童・生徒指導力の向上
校長

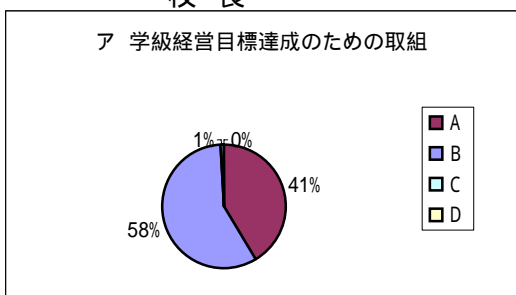


研修教員

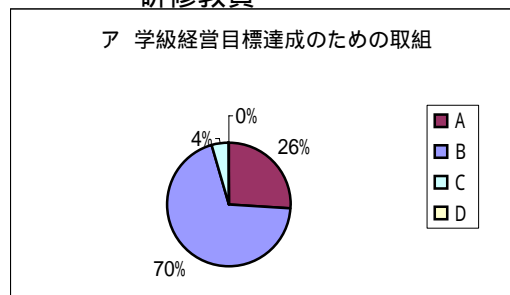


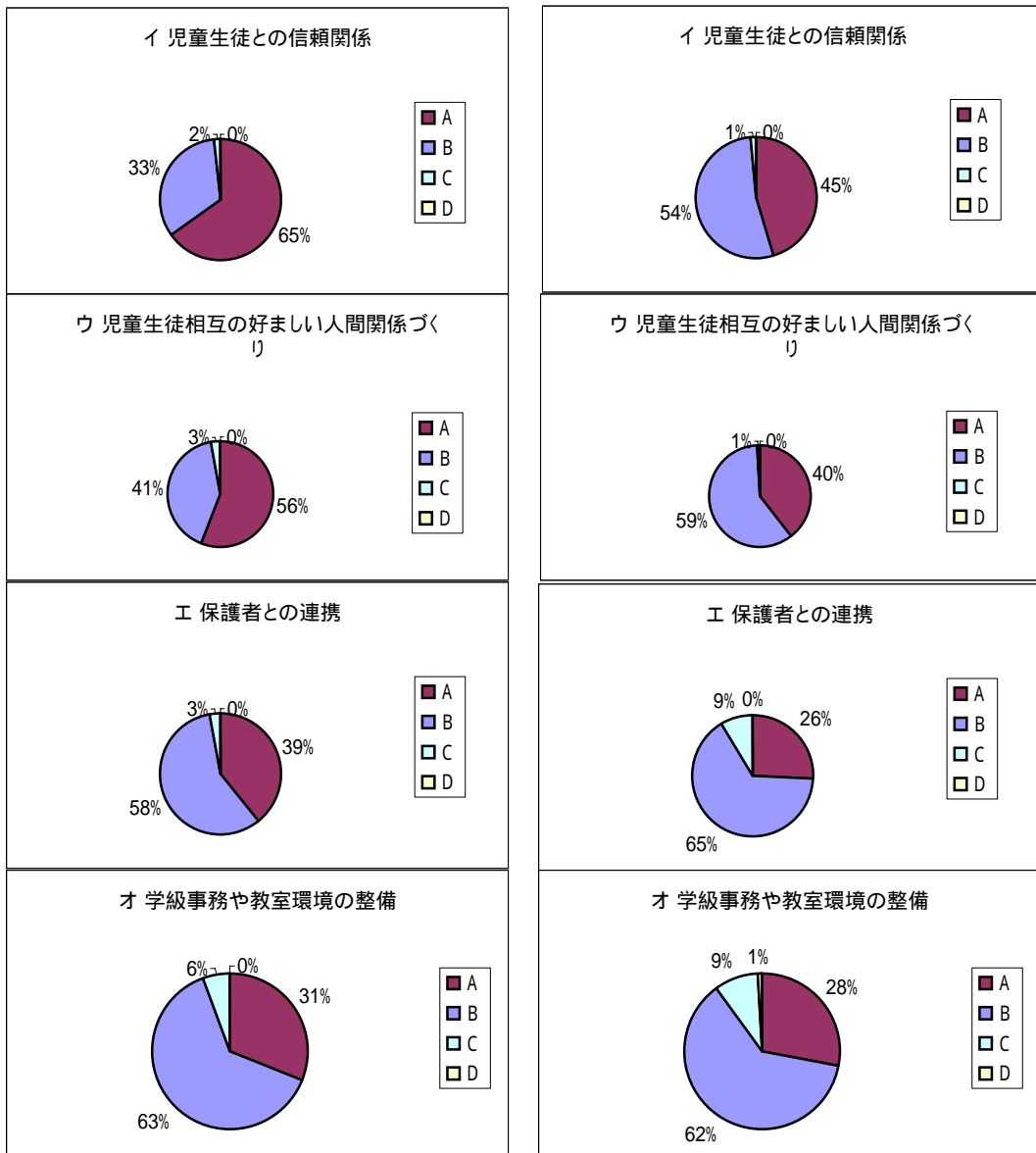
(3) 学級経営力の向上

校長



研修教員





(4) その他

主な記述

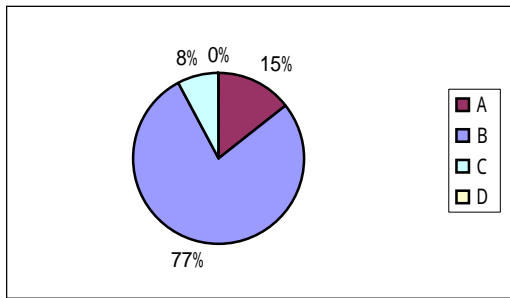
校長

- ・地区における地区プラン作成委員に選ばれ、研修成果を自校のみにとどめず、地区全体にも生かしている。
- ・中堅教員としての自覚が向上し、組織的対応の力がついたように思われる。
- ・研修意欲が旺盛で、校内の推進役として若手教員の模範的存在になっている。
- ・少人数学級で、一人一人の理解度に応じたワークシートの作成や個別指導に努め、保護者からの信頼も厚い。
- ・学校の進路指導計画に基づき、生徒が主体的に進路を選択できるよう生徒理解に努めている。
- ・教員として、生徒にとってどういう存在であるべきか、また、生徒にどのように対応していったらよいかという意識の向上と実践の質のレベルアップが見られた。
- ・保護者や地域住民とスムーズにコミュニケーションがとれるようになり、今まで以上に連携した教育活動が実施されている。

研修教員

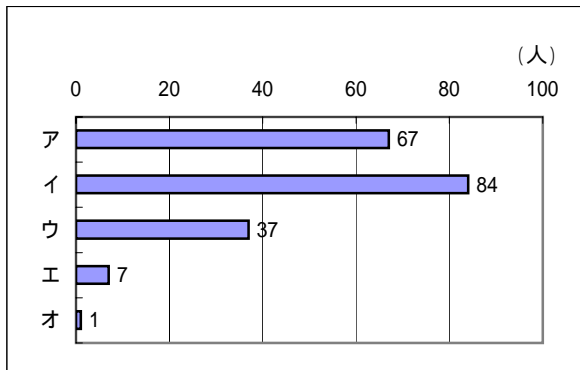
- ・学校内の業務が法的に定められていることを再認識した。
- ・特別支援教育の研修を受け、学級担任として、支援を要する児童に対して配慮して指導できるようになった。
- ・社会体験、異校種体験を通して、地域社会から見た学校の姿を意識するようになった。また、公務員としての社会人のあり方について考える機会となった。
- ・保護者と連携した進路指導を誠実に進めている。

2-1 本研修の特徴の一つである研修の事前および事後の評価が、有効に活用されているか。(回答者:校長)



- A 十分に活用した
- B ある程度活用した
- C あまり活用しなかった
- D 全く活用しなかった

2-2 事前および事後の評価を活用したことでどんな効果があったか。(回答者:校長)



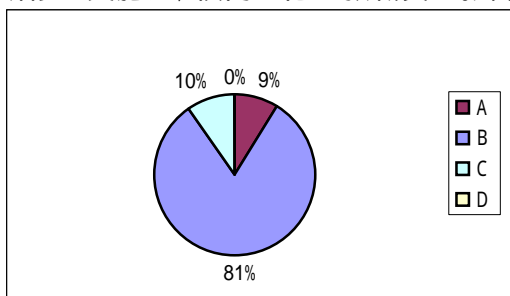
- ア 研修教員の今後更に伸ばすべき点や課題を研修教員と共有できた。
- イ 研修教員に今後の目標や計画を立てさせることができた。
- ウ 研修教員の意欲や自覚を高めることができた。
- エ 校長と研修教員が話し合う機会が増え、校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
- オ 評価結果を参考に学級担任などの校務分掌を決定することができた。
- カ その他

2-3 効果をもとめるために工夫したことは、どんなことか。(回答者:校長)

主な記述

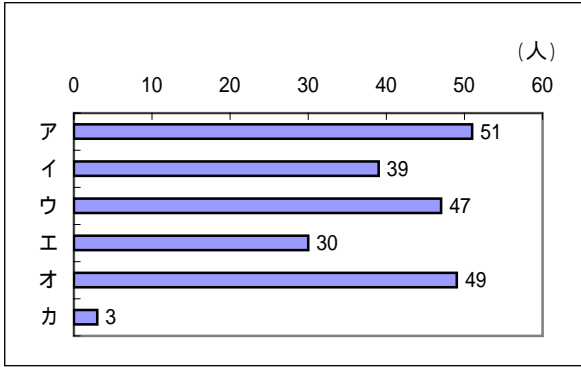
- ・研修した成果を町の教育実践に応募し、特選に入賞した。本人も大いに自信になったと話していた。
- ・本研修の自己課題を、教職員評価の自己目標設定と関連させ、昨年度の研究を実践的に継続できるようにした。
- ・教職員評価で自分の目標を設定する際に、研修の成果によってよりきめ細かな的確な目標をつくることができた。
- ・項目ごとに成果を具体的に確認し合った。また、校長としての期待を素直に伝えたところ、本人も前向きに受け止めた。
- ・本人の研修テーマと学校課題等の接点を明らかにし、学校全体の中での位置づけや意義として分かるよう工夫した。
- ・研修を受講して自覚と責任が一層高まった時期であり、学校課題研究に取り組ませた。また、学年主任をまかせ、充実感を持たせた。
- ・学力向上拠点形成事業研究学校の研究推進に関連づけて研修に取り組ませた。
- ・小教研の研究大会の会場校としての授業者を決める際に、進んで実践を申し出て、大会に向けて研修を積んでいる。
- ・学校経営方針を具体的に示し、焦点化したことによって、取り組みが明確になった。

3-1 本研修の実施が、校内の他の教職員に影響を及ぼしているか。(回答者:校長)



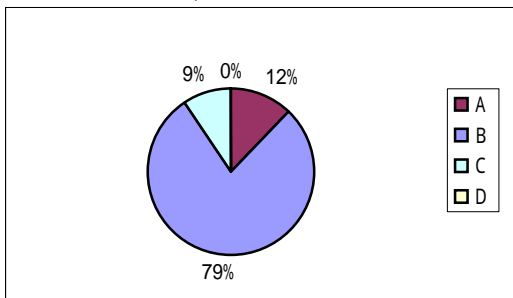
- A かなりあった
- B ある程度あった
- C あまりなかった
- D 全くなかった

3-2 どんな効果や影響があったか。(回答者:校長)



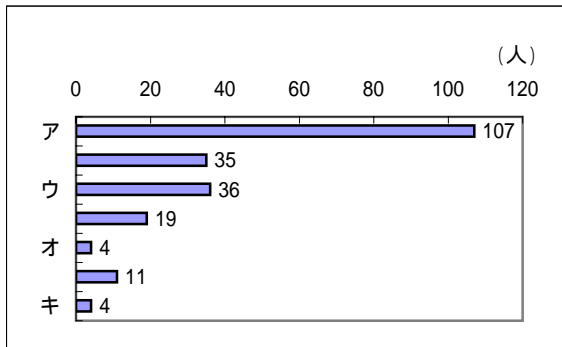
- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
- イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
- ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気醸成された。
- エ 研修教員へ指導を行う教員にもよい刺激となった。
- オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
- カ その他

4-1 本研修を終了した研修教員が、研修の成果や課題をもとに自主研修に取り組んでいるか。(回答者:研修教員)



- A 積極的に取り組んでいる
- B ある程度取り組んでいる
- C あまり取り組んでいない
- D 全く取り組んでいない

4-2 どんな自主研修に取り組んでいるか。(回答者:研修教員)



- ア 学習指導
- イ 児童・生徒指導
- ウ 学級経営
- エ 道徳教育
- オ 特別活動
- カ 特別支援教育
- キ その他

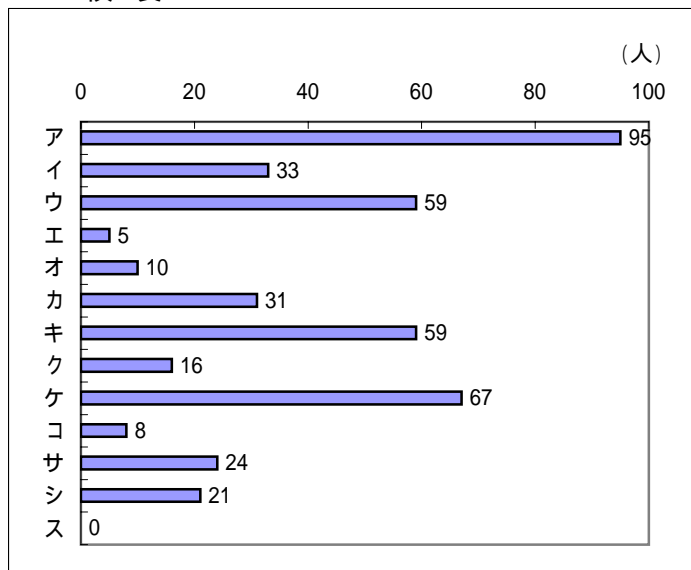
4-3 自主研修をどのように進めているのか。(回答者:研修教員)

主な記述

- ・わかる授業の展開を目指し、プリント等を作成している。
- ・通所指導教室担当者として、昨年度の課題研究をもとに、自主研修に取り組んでいる。
- ・教科別分科会で学んだ他の先生方の実践を、実態に合わせ工夫し、実践しようとしている。
- ・教科別分科会で学んだことをもとに、興味・関心を喚起する教材・教具を工夫している。
- ・関東ブロックの研究発表会に向けて、テーマを設定し自主研修に取り組んだ。
- ・昨年度のテーマを変更し、導入の工夫や振り返り、鑑賞の時間を充実させている。
- ・一単位時間の課題解決学習を、指導略案を作成しながら進めている。
- ・児童の行動に対する配慮や保護者とのコミュニケーションを円滑に行うための書籍等を利用して
- いる。
- ・特別支援教育について、外部講師を招いての研修を行い、文献などを読んで、実際の生徒の指導に当たっている。
- ・校内研究授業に積極的に取り組み、学習指導法の改善に取り組んでいる。
- ・夏季休業中、研修に参加し実践的技能を高めた。
- ・教育相談研修に参加している。
- ・毎時間自己評価を実施し、その内容を生徒にフィードバックし、個別指導に生かしている。
- ・学級経営の講話で学んだこと、特に掲示物には力を入れている。
- ・社会体育の指導に関わって指導法の研究をしている。

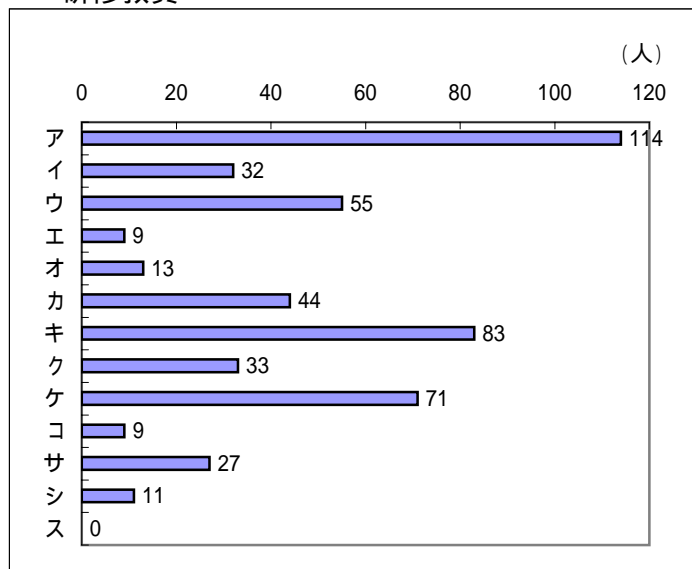
5-1 本研修の校内研修のうち、どんな内容が有効だったか。(回答者:校長、研修教員)

校長



- ア 公開授業と授業研究会
- イ 教育相談に関する研修
- ウ 児童・生徒指導に関する研修
- エ 進路指導に関する研修
- オ 情報機器の活用に関する研修
- カ 先輩教員等の授業の参観
- キ 課題研究
- ク 管理職や主任等による講話
- ケ 学習指導に関する研修
- コ 学校経営に関する研修
- サ 特別支援教育に関する研修
- シ 人権教育に関する研修
- ス その他

研修教員



- ア 公開授業と授業研究会
- イ 教育相談に関する研修
- ウ 児童・生徒指導に関する研修
- エ 進路指導に関する研修
- オ 情報機器の活用に関する研修
- カ 先輩教員等の授業の参観
- キ 課題研究
- ク 管理職や主任等による講話
- ケ 学習指導に関する研修
- コ 学校経営に関する研修
- サ 特別支援教育に関する研修
- シ 人権教育に関する研修
- ス その他

5-2 本研修の校内研修で、工夫したことはどんなことか。(回答者:校長)

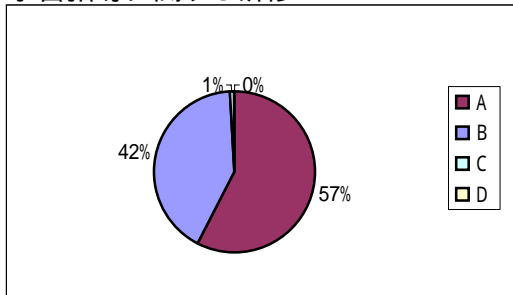
主な記述

校長

- ・授業研究会には、同学年、同教科担当にも参加させ、共に学び合う場を設定した。
- ・課題研究を現職教育に位置づけ、全員による実践で相互の資質向上を目指した。
- ・見せ合う授業の実践を通し、高め合う教師集団、信頼関係づくりの構築を図った。
- ・互いの刺激とするために、校内研修に関わる講師役の教師を8名にした。
- ・管理職による講話では、資料を用意し、体験談を交えて具体的に話すよう心がけた。
- ・本校では、Q-U検査による学級経営の充実を目標に実施しているが、この研修を深めることで、学級経営上の生徒理解がより深まった。
- ・校内における様々な事例研究を行ったので、子どもや家庭、行政、各関係機関等との連携、協力の重要性を理解できたと思う。

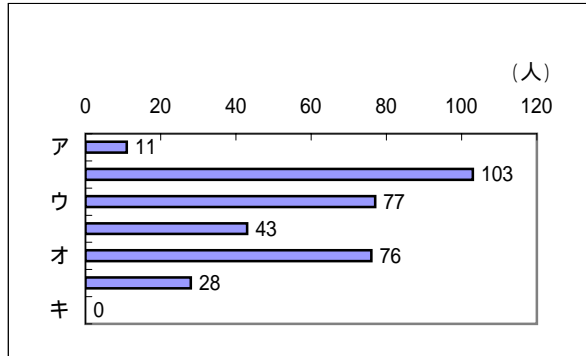
6 本研修の総合教育センター等における研修のうち、どんな内容が有効だったか。(回答者:研修
教員)

(1) 学習指導に関する研修



- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

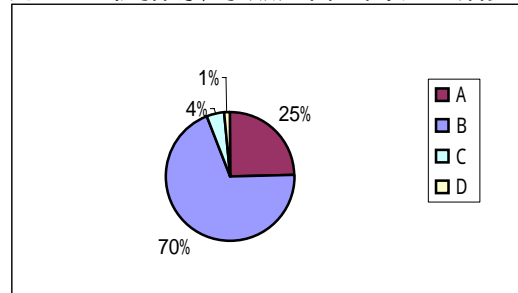
特に役立ったもの



〔研修内容〕

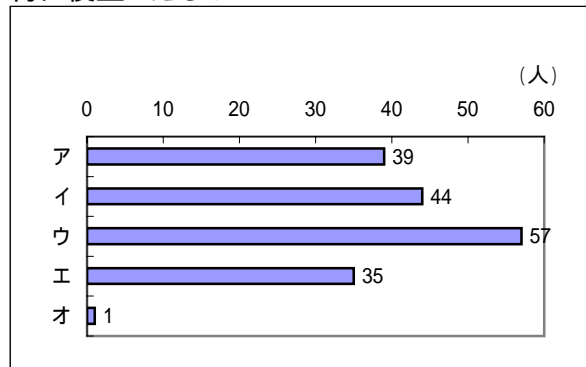
- ア 講話「今、求められる学習指導の在り方」
- イ 教科別分科会
- ウ 公開授業A、授業研究会
- エ ビデオによる授業研究
- オ 課題研究
- カ 児童生徒による授業評価
- キ その他

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修



- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

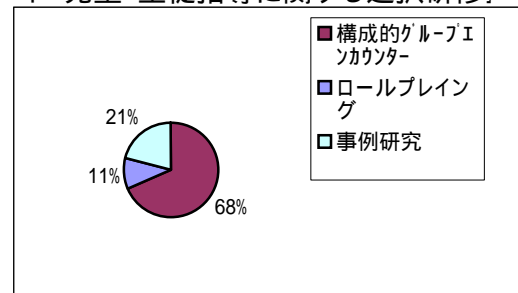
特に役立ったもの



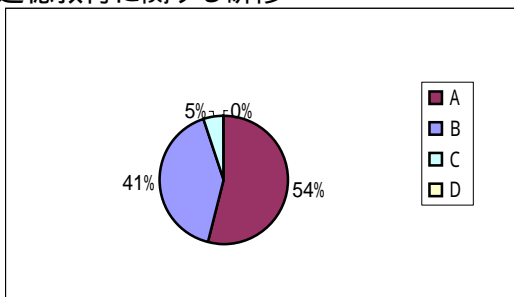
〔研修内容〕

- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
- イ 児童・生徒指導に関する選択研修
- ウ 実践発表「私の進めた学級経営～望ましい集団活動を通して～」
- エ 地域における児童・生徒指導の在り方
- オ その他

「イ 児童・生徒指導に関する選択研修」において選択したコース

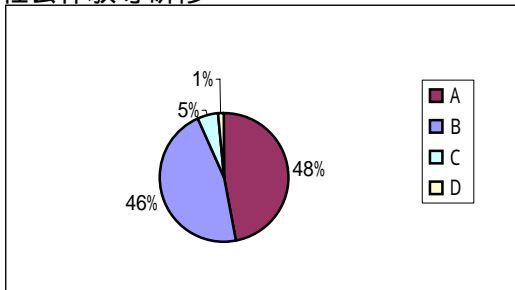


(3) 道徳教育に関する研修



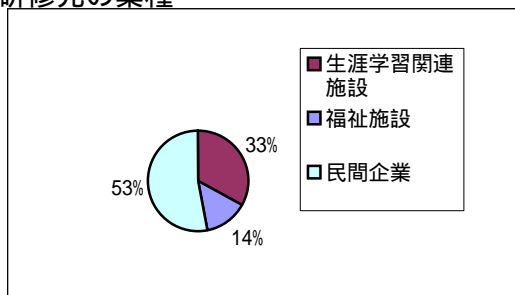
- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

(4) 社会体験等研修

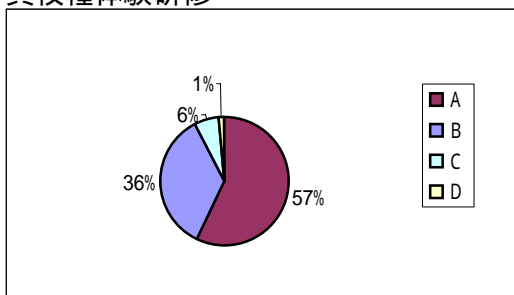


- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

研修先の業種

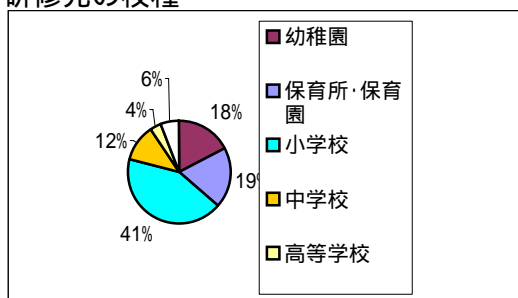


(5) 異校種体験研修

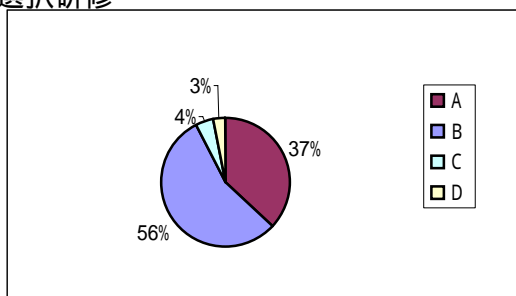


- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

研修先の校種

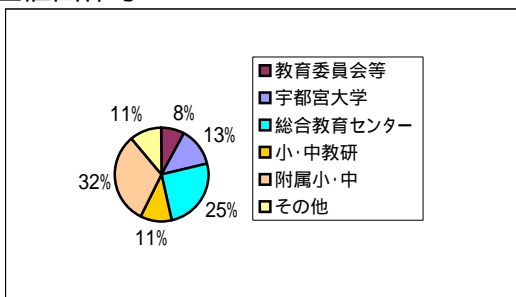


(6) 選択研修



- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

主催団体等



7 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容は何か。(回答者:校長・研修教員)

主な記述

校長

- ・人間的関わりを深める研修
- ・組織マネジメントに関する研修
- ・コーチングに関する研修
- ・先輩教員を囲んで学ぶ研修を取り入れ、今の自分の生徒指導の方向を再確認できる研修
- ・学級経営力向上の研修
- ・文書作成のノウハウを身に付ける研修
- ・理科の実技研修

研修教員

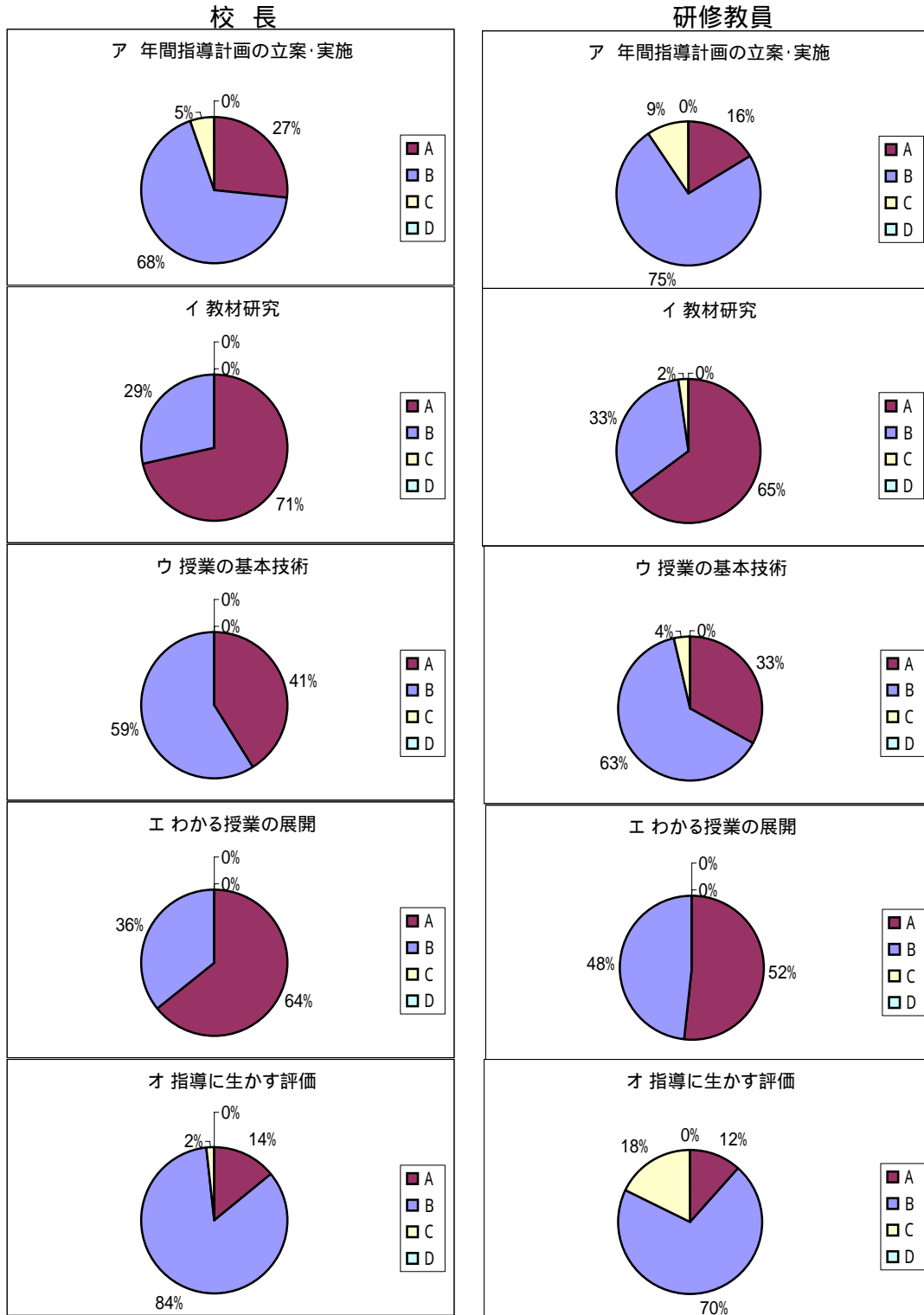
- ・先輩教員を囲んでのグループ討議
- ・先輩教員等の授業研究
- ・異なる業種の民間人等による講話
- ・教育界以外の方の講話、実践研究、法規演習
- ・食育に関する研修
- ・視察などの見識を深められる研修
- ・不登校の児童生徒や保護者に対する有効な支援の在り方を学ぶ研修

【アンケート結果 県立学校】

1 本研修を終了した研修教員が、個々の課題に応じて実施した研修の成果を、現在の指導に生かし、指導力が向上しているか。(回答者:校長・研修教員)

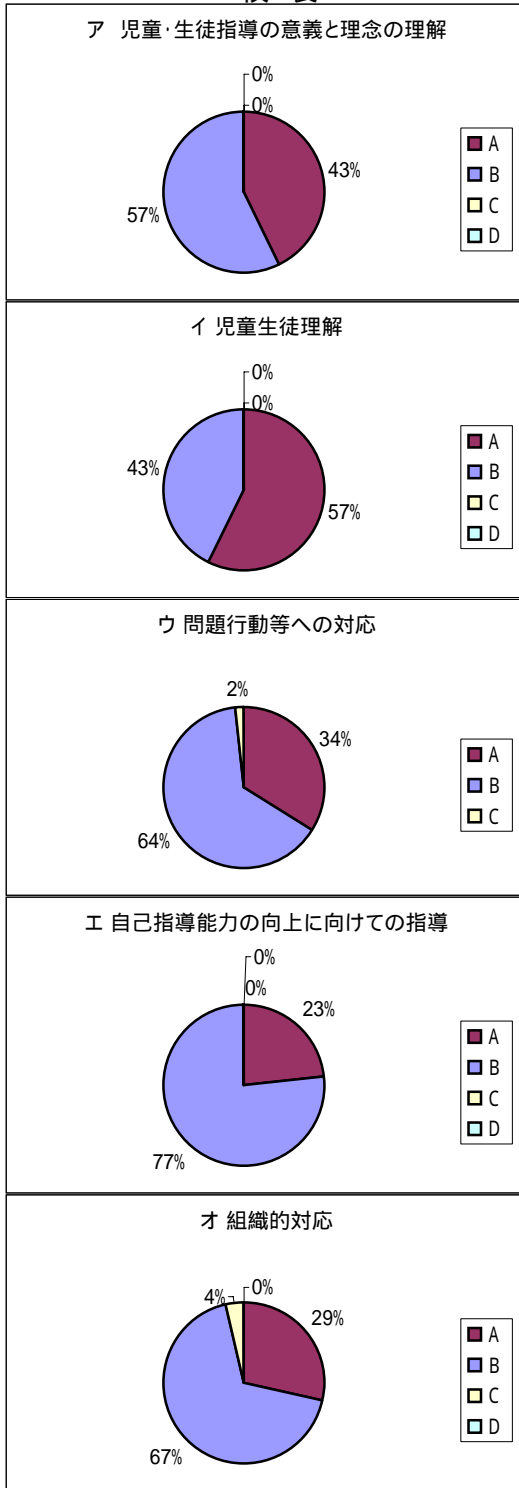
- A かなり生かしている B ある程度生かしている
 C 生かしていない D 全く生かしていない

(1) 学習指導力の向上

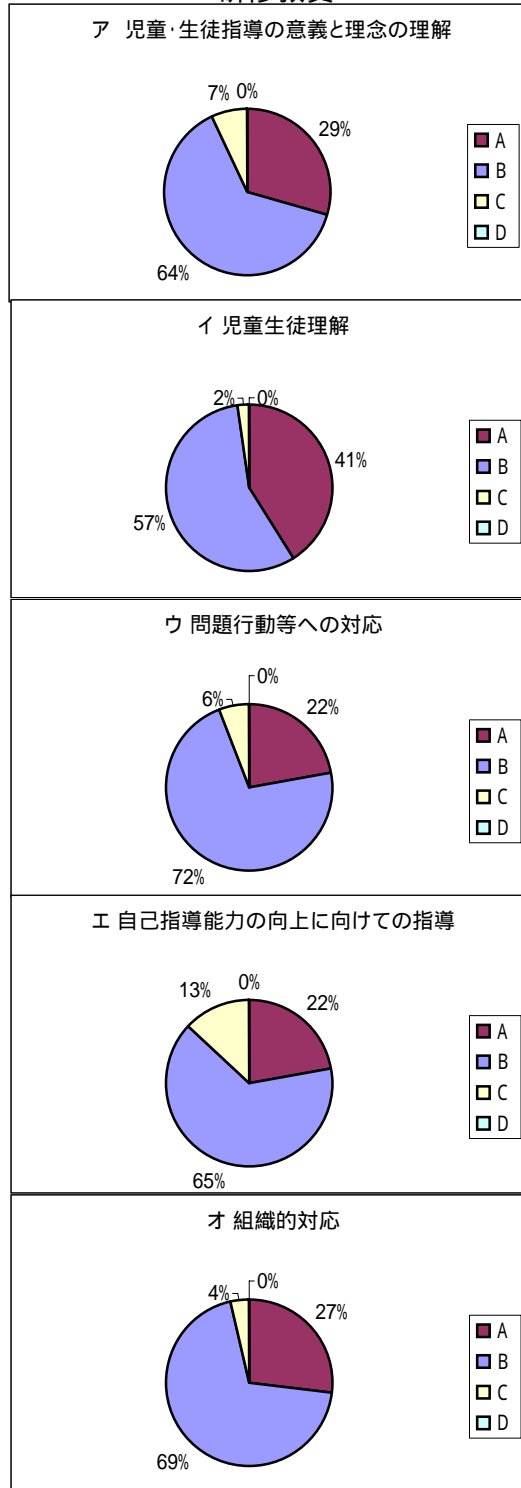


(2) 児童・生徒指導力の向上

校長

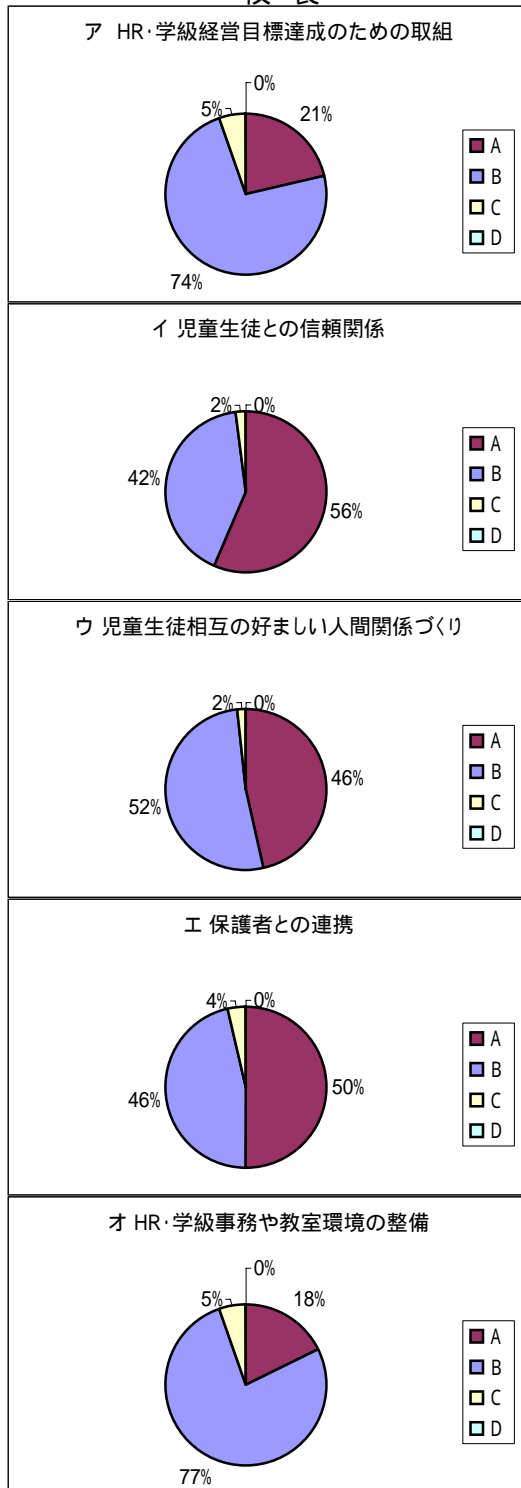


研修教員

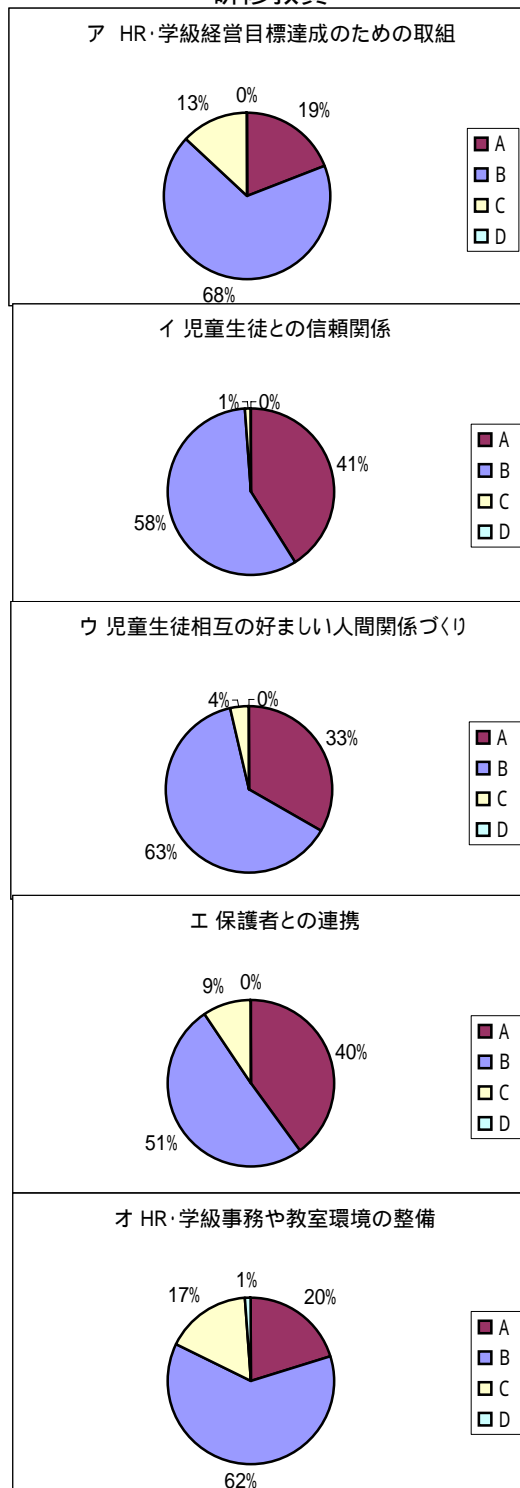


(3) HR・学級経営力の向上

校長



研修教員



(4) その他

主な記述

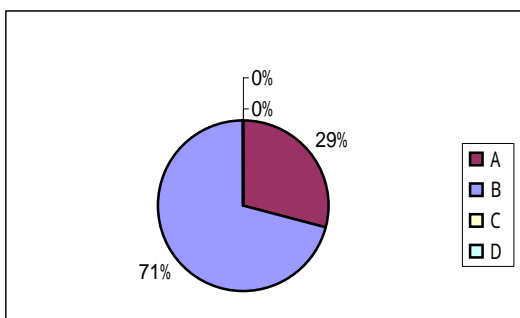
校長

- ・教育に対して幅広く取り組む意識ができた。
- ・異校種体験や社会体験等の研修は、教員としての視野を広げるのに役立つはずであり、今後その効果を期待したい。
- ・中堅教員になる上で、自分を見つめ直す良い機会となった。
- ・教員としてあるべき姿を更に自覚して校務にあたるようになった。
- ・生徒との対話については、積極的に話しかけるなど、また目線も生徒まで下げるなど工夫している。
- ・本研修のような機会があれば先生方の転機になる。
- ・リーダー的存在になる力はあるが、自分のポジションを理解した上での言動に注意が必要である。また、細かな指導についても研究の余地があると思われる。

研修教員

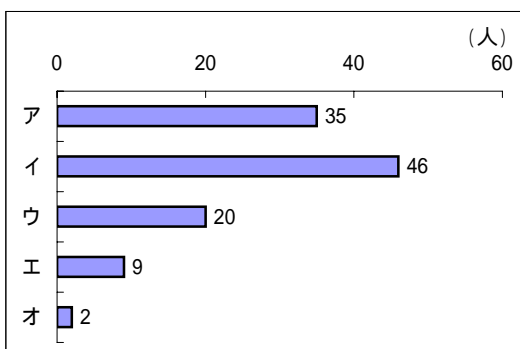
- ・教材研究の際にインターネットを利用し授業に生かせるようになった。
- ・学校教育を実践する上でこれまで以上に広い視野で考えることができるようになった。
- ・社会人として幅広い見識を持つことを心掛けるようになった。
- ・学校の教育目標や方針を意識した校務分掌への取組に積極的に努めている。
- ・生徒とのコミュニケーションの際の言葉の選び方について注意するようになった。

2-1 本研修の特徴の一つである研修の事前および事後の評価が、有効に活用されているか。
(回答者:校長)



- A 十分に活用した
- B ある程度活用した
- C あまり活用しなかった
- D 全く活用しなかった

2-2 事前および事後の評価を活用したことでどんな効果があったか。(回答者:校長)



ア 研修教員の今後更に伸ばすべき点や課題を研修教員と共有できた。

イ 研修教員に今後の目標や計画を立てさせることができた。

ウ 研修教員の意欲や自覚を高めることができた。

エ 校長と研修教員が話し合う機会が増え、校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。

オ 評価結果を参考に学級担任などの校務分掌を決定することができた。

カ その他

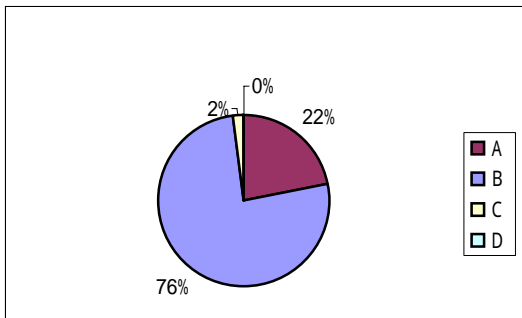
2-3 効果を高めるために工夫したことは、どんなことか。(回答者:校長)

主な記述

- ・教材のわかりにくい内容について、インターネット等で調べ具体的に生徒に示すことで、わかりやすい授業を目指すよう指導した。30～40分の講話で校長の考え方を伝えることができた。
- ・公開授業では、他教科の教職員が参観することで、授業研究や授業への取組に効果があった。また、10年目以外の教員にも良い刺激となり、今後の授業に参考になったようである。
- ・校長が直接指導・研修にあたったことで、研修教員の意欲が伝わる場面が多かった。校長の学校経営方針なども浸透させることができた。
- ・面談や授業参観を多く実施した。
- ・研修終了後、伸びた点や改善された点、まだ改善の余地がある点等、良い点と今後の課題をこれからの活躍に期待を込めつつ具体的に示すようにした。
- ・当該教員と時々話し合いを持ち、モチベーションの維持に努めた。

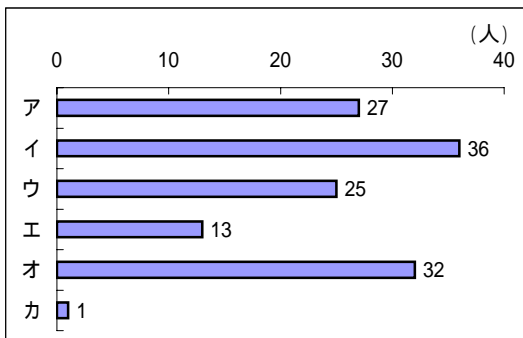
3-1 本研修の実施が、校内の他の教職員に影響を及ぼしているか。(回答者:校長)

(1) A～Dの当てはまるものを で囲んでください。



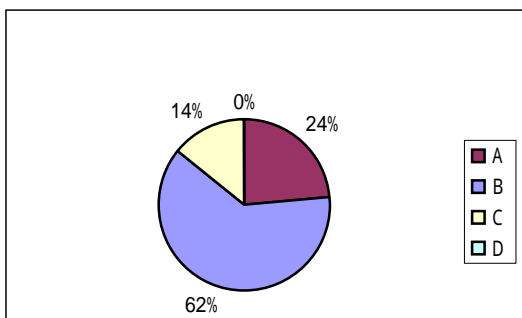
- A かなりあった
- B ある程度あった
- C あまりなかった
- D 全くなかった

3-2 どんな効果や影響があったか。(回答者:校長)



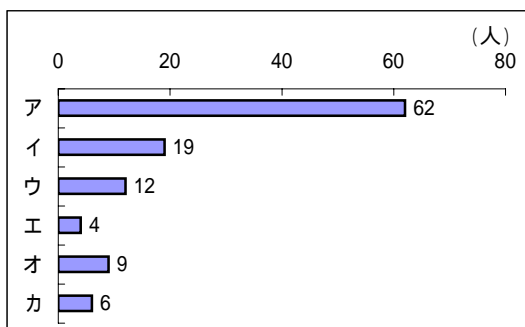
- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
- イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
- ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、お互いに高め合おうとする雰囲気醸成された。
- エ 研修教員へ指導を行う教員にもよい刺激となった。
- オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
- カ その他

4-1 本研修を終了した研修教員が、研修の成果や課題をもとに自主研修に取り組んでいるか。(回答者:研修教員)



- A 積極的に取り組んでいる
- B ある程度取り組んでいる
- C あまり取り組んでいない
- D 全く取り組んでいない

4-2 どんな自主研修に取り組んでいるか。(回答者:研修教員)



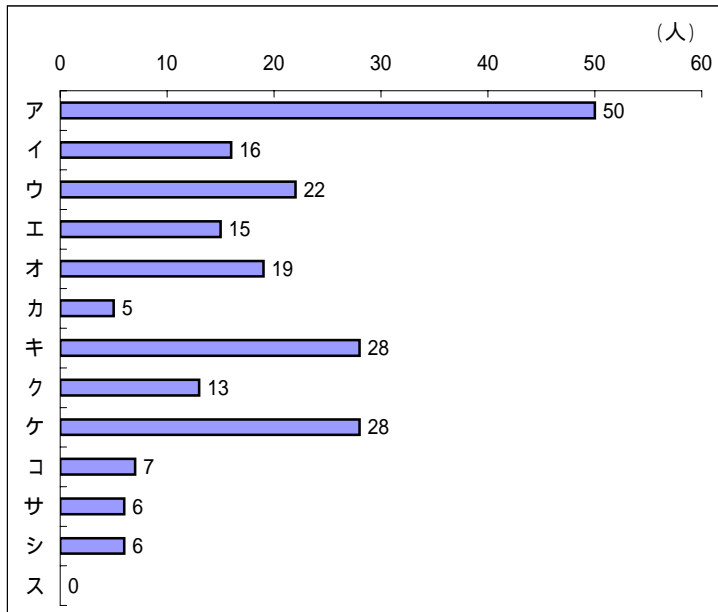
- ア 学習指導
- イ 児童・生徒指導
- ウ HR・学級経営
- エ 特別活動
- オ 特別支援教育
- カ その他

4-3 自主研修をどのように進めているのか。(回答者:研修教員)

- ・できるだけ多くの研修等に参加したり、先輩の先生方の意見を参考にしたりして、自己研鑽を積んでいる。
- ・生徒指導の理念の理解のため、他校や他県と連絡を取り合い情報を収集している。
- ・生徒一人一人の個性や能力を理解するために、面談やHRノートの活用をしている。
- ・教科別分科会で他の先生が工夫されていることなどを参考に、自分の授業の進め方を見直し、改善するようになった。
- ・情報機器を利用した教材開発とそれを利用した授業実践をしている。
- ・課題研究で考察した内容を今年度も引き続き研究している。
- ・希望研修に参加したり、その分野の自己研修をしたりしている。
- ・生徒の学習能力や家庭学習の状況を把握して、分かる授業の実践や個に応じた指導に努めている。
- ・HR経営においては、学級通信を発行し、生徒、保護者との信頼関係作りに努めている。
- ・生徒指導において、不安定生徒との早期面談実施、家庭連携を図った。
- ・理解に応じた資料、プリントを準備し、評価に結びつく指導を心掛けている。
- ・生涯学習の視点から、学校と地域の関わりについて研究している。

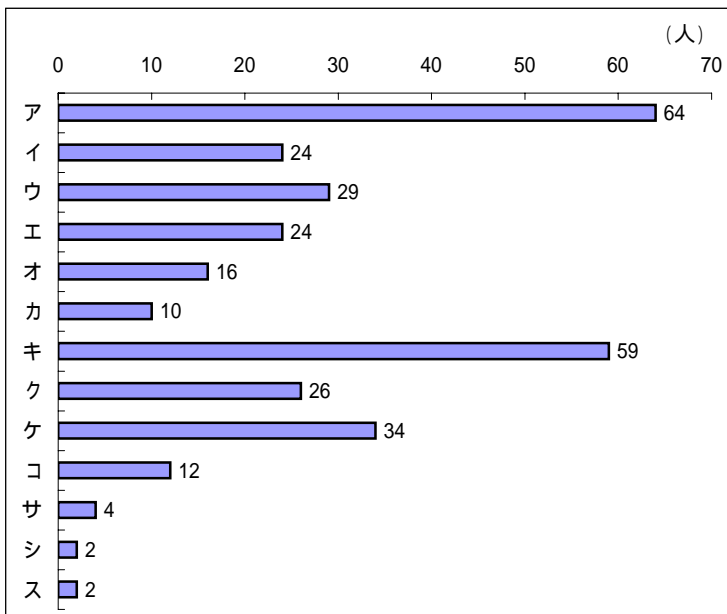
5-1 本研修の校内研修のうち、どんな内容が有効だったか。(回答者:校長、研修教員)

校長



- ア 公開授業と授業研究会
- イ 教育相談に関する研修
- ウ 児童・生徒指導に関する研修
- エ 進路指導に関する研修
- オ 情報機器の活用等に関する研修
- カ 先輩教員等による授業
- キ 課題研究
- ク 管理職等の講話
- ケ 教科(学習)指導に関する研修
- コ 学校経営に関する研修
- サ 特別支援教育に関する研修
- シ 人権教育に関する研修
- ス その他

研修教員



- ア 公開授業と授業研究会
- イ 教育相談に関する研修
- ウ 児童・生徒指導に関する研修
- エ 進路指導に関する研修
- オ 情報機器の活用等に関する研修
- カ 先輩教員等による授業
- キ 課題研究
- ク 管理職等の講話
- ケ 教科(学習)指導に関する研修
- コ 学校経営に関する研修
- サ 特別支援教育に関する研修
- シ 人権教育に関する研修
- ス その他

5-2 本研修の校内研修で、工夫したことはどんなことか。(回答者:校長)

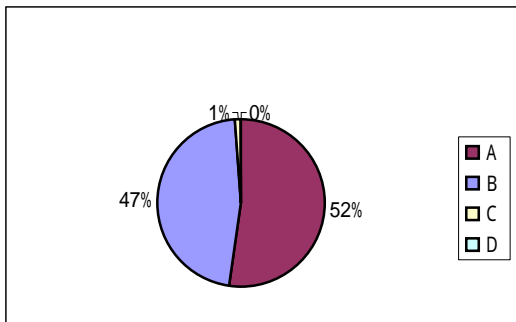
主な記述

校長

- ・本人の意欲を喚起するよう、内容や口調に注意した。
- ・10年目研修の公開授業にならい、PTA総会開催日に全教員の公開授業を実施したり、11月6～13日に教員の相互研修として校内授業週間を計画したりすることができた。
- ・生徒指導、学習指導、進路指導の各主任の講話及び教頭、校長の講話に重点を置き、学校経営システムの理解の深化を図った。
- ・情報機器の活用等については、特にe-ラーニングの構築に向けて取り組んだ。
- ・公開授業に多くの教員が参加し、互いに刺激になっている。
- ・公開授業に参加できない教員のためにビデオをとり、授業研究会や日ごろの学習指導に生かせるようにした。また、校内研修の各研修は実践的な内容を多く取り入れた。
- ・一つの分野に偏らないよう工夫した。受講者と十分話し合いながら研修を進めた。

6 本研修の総合教育センター等における研修のうち、どんな内容が有効だったか。(回答者:研修教員)

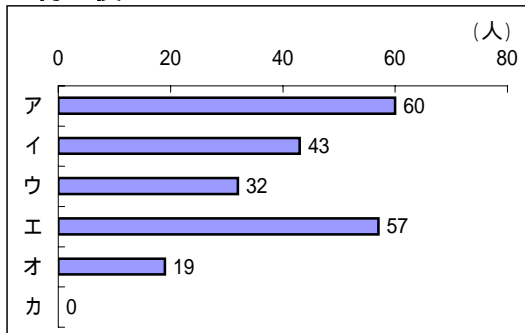
(1) 学習指導に関する研修



(研修内容)

- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

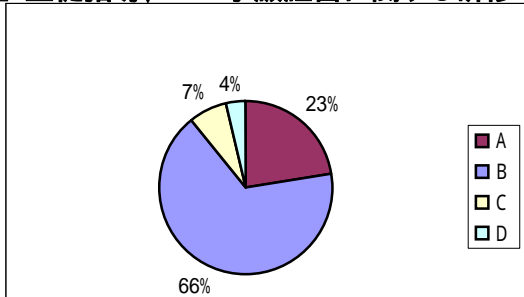
特に役に立ったもの



(研修内容)

- ア 教科別分科会
- イ 公開授業A、授業研究会
- ウ ビデオによる授業研究
- エ 課題研究
- オ 児童・生徒等による授業評価
- カ その他

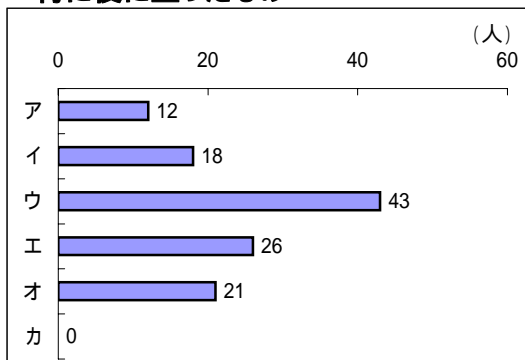
(2) 児童・生徒指導、HR・学級経営に関する研修



(研修内容)

- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

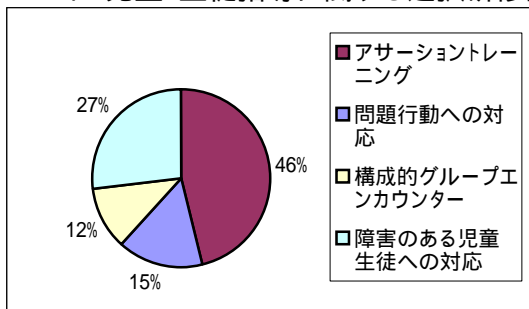
特に役に立ったもの



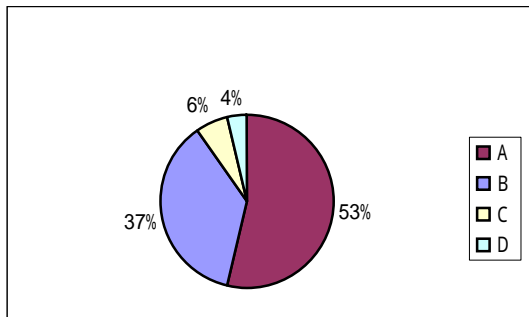
(研修内容)

- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
- イ 講話「学校における児童生徒理解」
- ウ 演習「児童生徒、保護者の理解～ロールプレイングを用いて～」
- エ 児童・生徒指導に関する選択研修
- オ 地域における児童・生徒指導の在り方
- カ その他

「イ 児童・生徒指導に関する選択研修」において選択したコース

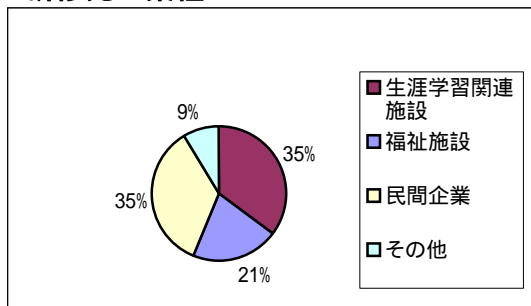


(3) 社会体験等研修

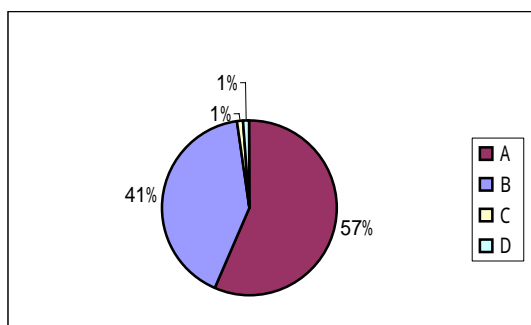


- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

研修先の業種

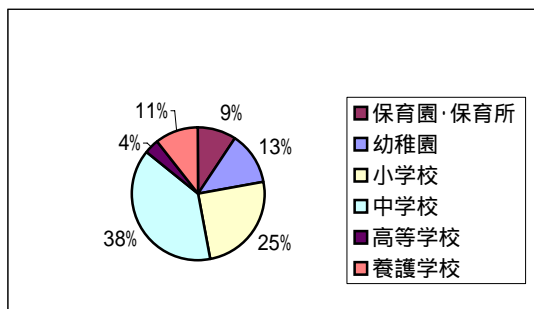


(4) 異校種体験研修

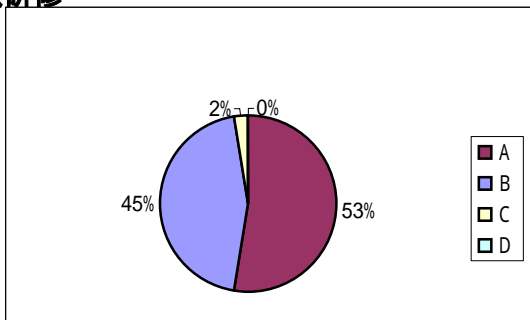


- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

研修先の校種

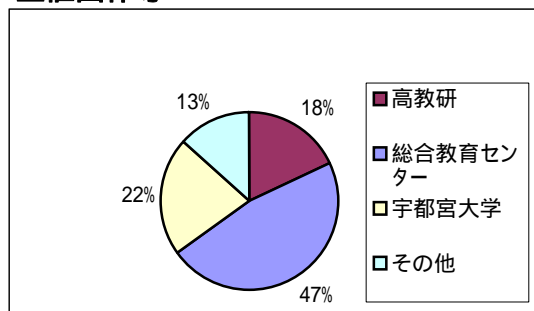


(5) 選択研修



- A かなり役立っている
- B ある程度役立っている
- C 役立っていない
- D あまり役立っていない

主催団体等



7 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容は何か。(回答者:校長・研修教員)

主な記述

校長

- ・各学科の全教育課程を自分で組んでみる。それにより学習指導要領を理解し、自分の教科・科目以外の内容についても幅広く認識できる。
- ・中堅教員(ミドルリーダー)としての校務運営に関する研修も望まれる。
- ・教育現場におけるコーチング(やる気を引き出すコミュニケーションスキル)の育成を目指した研修を取り入れてほしい。
- ・不登校生徒に対する指導法の研修時間を増やしてほしい。
- ・多様化している児童・生徒との関わり方、向きあい方について協議の時間を十分取ってほしい。
- ・特別支援教育を推進するための法令や規則及び運用についての研修を取り入れてほしい。
- ・異校種研修の中に、10年目の教員が経験していない他の障害種の学校において研修することが大切になると考える。

研修教員

- ・選択研修の講座を一つではなく、複数選択できるようにしてほしい。
- ・高等学校間の交流も入れてほしい。
- ・不登校生徒にどのように対応したらよいのか、専門医からアドバイスをいただきたい。
- ・法律や条令に関する研修を取り入れてほしい。
- ・いじめに対する具体的対応についての研修を取り入れてほしい。
- ・教科別分科会の時間を増やしてほしい。

【まとめ 小・中・県立学校】

本アンケートの結果を、次の1から6の項目について整理する。

1 本研修を終了した研修教員が、個々の課題に応じて実施した研修の成果を、現在の指導に生かし、指導力が向上しているか。

校長、研修教員ともに、学習指導、児童・生徒指導、学級経営について、本研修の成果を生かし、指導力が向上したととらえているが、校長の回答に比べて、研修教員の方が自己を厳しく評価する傾向があった。また、研修後は、教員としての自覚や意識が高まり、学校の中心となって教育活動を推進しているという校長の回答も見られた。

2 本研修の特徴の一つである研修の事前および事後の評価が、有効に活用されているか。

校長の回答では、「十分に活用した」「ある程度活用した」を合わせると9割を越えており、研修の評価システムを有効に活用して研修を進めたことがうかがえる。具体的には、面談等を通して、研修教員の目標や更に伸ばすべき点を明確にしたとする回答が見られた。

3 本研修の実施が、校内の他の教職員にどのような影響を及ぼしているか。

校長の回答では、「かなりあった」「ある程度あった」を合わせると9割を越えた。他の教職員が、研修教員の意欲的に取り組む姿を見たり、公開授業や授業研究会に関わったりしたことによる波及効果が見られたとする回答が多かった。

4 本研修を終了した研修教員が、研修の成果や課題をもとに自主研修に取り組んでいるか。

研修教員の回答では、「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」を合わせると9割を越えた。分野としては学習指導が最も多く、教科別分科会で協議したことを参考にしたり、課題研究のテーマに基づいて継続して取り組んだりしていることがうかがえた。また、研修会に積極的に参加したり専門書を活用して研究を深めたりしているという回答もあった。

5 本研修の校内研修のうち、どんな内容が有効だったか。

校長、研修教員ともに、公開授業と授業研究会、課題研究、学習指導に関する研修が有効だったとする回答が多かった。また、現職研修に位置づけたり関係する教職員を広く校内に広げたりし、効果的な研修に務めていることが分かった。

6 本研修の総合教育センター等における研修のうち、どんな内容が有効だったか。

研修教員の回答では、「かなり役立っている」「ある程度役立っている」を合わせると、学習指導に関する内容が99%と最も多かった。次に多かったのは、小・中学校では道徳教育、児童・生徒指導、学級経営に関する内容であり、中でも、道徳教育は「かなり役立っている」との回答が54%であった。県立学校では、異校種体験、社会体験等研修、選択研修の有効性が高かった。

7 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容は何か。

校長は学校組織マネジメント等の学校経営や児童・生徒指導に関する研修を、研修教員は先輩教員や民間人に学ぶ機会を望んでいることが分かった。今後の研修を企画する際に、参考にしていきたい。

アンケート全体から、本研修の成果が教員自身の指導力向上に結びつき、研修後も意識して自主研修に取り組んでいる様子がうかがえた。今後も、児童生徒の望ましい変容を願い、各種の研修に積極的に取り組んでいただきたい。

終わりに、アンケートにご協力をいただいた、関係各学校の校長先生並びに平成17年度研修教員の先生方、各教育事務所、各市町村教育委員会に感謝を申し上げます。

教職10年目研修(小・中学校)事後アンケート

該当する校種を で囲んでください。(小学校・中学校)
平成18年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

1 研修教員が研修終了後、研修の成果をその後の指導に生かしているかについて、次の(1)～(3)のA～オの観点ごとにA～Dの当てはまるものを で囲んでください。なお、(1)～(3)の項目以外のことについては、(4)の □ 内にお書きください。

- A かなり生かしている B ある程度生かしている
C 生かしていない D 全く生かしていない

(1) 研修成果を生かし、学習指導力が向上したか。		
観 点	ア 年間指導計画の立案・実施	(A B C D)
	イ 教材研究	(A B C D)
	ウ 授業の基本技術	(A B C D)
	エ わかる授業の展開	(A B C D)
	オ 指導に生かす評価	(A B C D)
(2) 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上したか。		
観 点	ア 児童・生徒指導の意義と理念の理解	(A B C D)
	イ 児童生徒理解	(A B C D)
	ウ 問題行動等への対応	(A B C D)
	エ 自己指導能力の向上に向けての指導	(A B C D)
	オ 組織的対応	(A B C D)
(3) 研修成果を生かし、学級経営力が向上したか。		
観 点	ア 学級経営目標達成のための取組	(A B C D)
	イ 児童生徒との信頼関係	(A B C D)
	ウ 児童生徒相互の好ましい人間関係づくり	(A B C D)
	エ 保護者との連携	(A B C D)
	オ 学級事務や教室環境の整備	(A B C D)

(4) その他

2 「校長は、決定した研修計画に従って研修を実施し、本研修終了時に再度評価を行い、その結果を当該研修教員に説明し、今後の指導や研修に活用する。」(「教職10年目研修の手引」P5参照) ことになっています。

- (1) A～Dの当てはまるものを で囲んでください。
A 十分に活用した B ある程度活用した
C あまり活用しなかった D 全く活用しなかった

(2) (1)でAまたはBを で囲んだ方は、活用したことでどんな効果があったかについて、以下のA～オの当てはまるものすべてを で囲んで、特に効果を高めるために工夫した点があれば □ 内にお書きください。

- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
エ 校務分掌や学級担任を決定する際、スムーズにできるようになった。
オ その他 ()

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1) A～Dの当てはまるものを で囲んでください。

- A かなりあった B ある程度あった
C あまりなかった D 全くなかった

(2) (1)でAまたはBを で囲んだ方は、どんな効果や影響があったかについて、以下のア～カの当てはまるものすべてを を囲んでください。

- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気醸成された。
エ 研修教員へ指導を行う教員にもよい刺激となった。
オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
カ その他()

4 平成17年度の校内研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スの当てはまるものすべてを で囲んで、特に工夫した点があれば 内に具体的にお書きください。

- | | |
|------------------|--------------|
| ア 公開授業と授業研究会 | イ 教育相談に関する研修 |
| ウ 児童・生徒指導に関する研修 | エ 進路指導に関する研修 |
| オ 情報機器の活用等に関する研修 | カ 先輩教員等による授業 |
| キ 課題研究 | ク 管理職等の講話 |
| ケ 教科(学習)指導に関する研修 | コ 学校経営に関する研修 |
| サ 特別支援教育に関する研修 | シ 人権教育に関する研修 |
| ス その他() | |

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、総合教育センター研修部へ送付してください。

教職10年目研修（小・中学校）事後アンケート

該当する校種を で囲んでください。

（小学校・中学校）

研修終了から平成18年10月までをふりかえって、次の1から5の質問にお答えください。

- 1 研修教員が研修終了後、研修の成果をその後の指導や指導力の向上に生かしているかについて、次の(1)～(3)のア～オの観点ごとにA～Dの当てはまるものを で囲んでください。なお、(1)～(3)の項目以外のことについては、(4)の 内にお書きください。

- A かなり生かしている B ある程度生かしている
C あまり生かしていない D 全く生かしていない

(1) 研修成果を生かし、学習指導力が向上したか。	
観 点	ア 年間指導計画の立案・実施 (A B C D)
	イ 教材研究 (A B C D)
	ウ 授業の基本技術 (A B C D)
	エ わかる授業の展開 (A B C D)
	オ 指導に生かす評価 (A B C D)
(2) 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上したか。	
観 点	ア 児童・生徒指導の意義と理念の理解 (A B C D)
	イ 児童生徒理解 (A B C D)
	ウ 問題行動等への対応 (A B C D)
	エ 自己指導能力の向上に向けての指導 (A B C D)
	オ 組織的対応 (A B C D)
(3) 研修成果を生かし、学級経営力が向上したか。	
観 点	ア 学級経営目標達成のための取組 (A B C D)
	イ 児童生徒との信頼関係 (A B C D)
	ウ 児童生徒相互の好ましい人間関係づくり (A B C D)
	エ 保護者との連携 (A B C D)
	オ 学級事務や教室環境の整備 (A B C D)

(4) その他

- 2 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在自主研修に取り組んでいますか。

(1) A～Dの当てはまるものを で囲んでください。

- A 積極的に取り組んでいる B ある程度取り組んでいる
C あまり取り組んでいない D 全く取り組んでいない

(2) (1)でAまたはBを で囲んだ方は、どんな研修に取り組んでいるかについて、以下のア～キの当てはまるものすべてを で囲み、どのように進めているのか 内に具体的にお書きください。

ア 学習指導 イ 児童・生徒指導 ウ 学級経営 エ 道徳教育 オ 特別活動
カ 特別支援教育 キ その他 ()

3 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ったかどうかについて、(1)～(6)の項目のA～Dの当てはまるものを で囲んでください。なお、(1)～(2)については、特に役立ったものすべてを で囲んでください。

- A かなり役立っている B ある程度役立っている
C 役立っていない D あまり役立っていない

(1) 学習指導に関する研修 (A B C D)

- ア 講話「今、求められる学習指導の在り方」 イ 教科別分科会
ウ 公開授業A、授業研究会 エ ビデオによる授業研究
オ 課題研究 カ 児童・生徒等による授業評価
キ その他()

(2) 児童・生徒指導、学級経営に関する研修 (A B C D)

- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」
イ 児童・生徒指導に関する選択研修(選択したコース: _____)
ウ 実践発表「私の進めた学級経営～望ましい集団活動を通して～」
エ 地域における児童・生徒指導の在り方
オ その他()

(3) 道徳教育に関する研修 (A B C D)

(4) 社会体験等研修(研修先の業種: _____) (A B C D)

(5) 異校種体験研修(研修先の校種: _____) (A B C D)

(6) 選択研修 (選択研修名: _____) (A B C D)

4 平成17年度の校内研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スの当てはまるものすべてを で囲んでください。

- ア 公開授業と授業研究会 イ 教育相談に関する研修
ウ 児童・生徒指導に関する研修 エ 進路指導に関する研修
オ 情報機器の活用等に関する研修 カ 先輩教員等による授業
キ 課題研究 ク 管理職等の講話
ケ 教科(学習)指導に関する研修 コ 学校経営に関する研修
サ 特別支援教育に関する研修 シ 人権教育に関する研修
ス その他()

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。11月2日までに校長に提出してください。

教職10年目研修(県立学校)事後アンケート

該当する校種を で囲んでください。(高等学校・盲聾養護学校)
平成18年10月までの研修教員の状況等をとらえて、次の1から5の質問にお答えください。

1 研修教員が研修終了後、研修の成果をその後の指導に生かしているかについて、次の(1)～(3)のA～オの観点ごとにA～Dの当てはまるものを で囲んでください。なお、(1)～(3)の項目以外のことについては、(4)の □ 内にお書きください。

- A かなり生かしている B ある程度生かしている
C 生かしていない D 全く生かしていない

(1) 研修成果を生かし、学習指導力が向上したか。		
観 点	ア 年間指導計画の立案・実施	(A B C D)
	イ 教材研究	(A B C D)
	ウ 授業の基本技術	(A B C D)
	エ わかる授業の展開	(A B C D)
	オ 指導に生かす評価	(A B C D)
(2) 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上したか。		
観 点	ア 児童・生徒指導の意義と理念の理解	(A B C D)
	イ 児童生徒理解	(A B C D)
	ウ 問題行動等への対応	(A B C D)
	エ 自己指導能力の向上に向けての指導	(A B C D)
	オ 組織的対応	(A B C D)
(3) 研修成果を生かし、HR・学級経営力が向上したか。		
観 点	ア HR・学級経営目標達成のための取組	(A B C D)
	イ 児童生徒との信頼関係	(A B C D)
	ウ 児童生徒相互の好ましい人間関係づくり	(A B C D)
	エ 保護者との連携	(A B C D)
	オ HR・学級事務や教室環境の整備	(A B C D)

(4) その他

2 「校長は、決定した研修計画に従って研修を実施し、本研修終了時に再度評価を行い、その結果を当該研修教員に説明し、今後の指導や研修に活用する。」(「教職10年目研修の手引」P5参照) ことになっています。

- (1) A～Dの当てはまるものを で囲んでください。
A 十分に活用した B ある程度活用した
C あまり活用しなかった D 全く活用しなかった

(2) (1)でAまたはBを で囲んだ方は、活用したことでどんな効果があったかについて、以下のA～オの当てはまるものすべてを で囲んで、特に効果を高めるために工夫した点があれば □ 内にお書きください。

- ア 研修教員の今後の自己研修の方向性や課題を明確にすることができた。
イ 研修教員の意欲や自覚が高まった。
ウ 研修教員に校長の考えや経営方針が浸透しやすくなった。
エ 校務分掌や学級担任を決定する際、スムーズにできるようになった。
オ その他 ()

3 教職10年目研修の実施によって、研修教員以外の教員に対して効果や影響がありましたか。

(1) A～Dの当てはまるものを で囲んでください。

- A かなりあった B ある程度あった
C あまりなかった D 全くなかった

(2) (1)でAまたはBを で囲んだ方は、どんな効果や影響があったかについて、以下のア～カの当てはまるものすべてを を囲んでください。

- ア 研修教員が意欲的に研修する姿により、周囲の教員の自己研修の意識が高まった。
イ 授業を公開することへの抵抗感が少なくなった。
ウ 教員同士が教科指導等について話し合う機会が増え、互いに高め合おうとする雰囲気が醸成された。
エ 研修教員へ指導を行う教員にもよい刺激となった。
オ 公開授業や授業研究会等を通して、多くの教員が指導技術や指導法について学ぶことができた。
カ その他()

4 平成17年度の校内研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スの当てはまるものすべてを で囲んで、特に工夫した点があれば 内に具体的にお書きください。

- | | |
|------------------|--------------|
| ア 公開授業と授業研究会 | イ 教育相談に関する研修 |
| ウ 児童・生徒指導に関する研修 | エ 進路指導に関する研修 |
| オ 情報機器の活用等に関する研修 | カ 先輩教員等による授業 |
| キ 課題研究 | ク 管理職等の講話 |
| ケ 教科(学習)指導に関する研修 | コ 学校経営に関する研修 |
| サ 特別支援教育に関する研修 | シ 人権教育に関する研修 |
| ス その他() | |

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。研修教員用と併せて、総合教育センター研修部へ送付してください。

教職10年目研修（県立学校）事後アンケート

該当する校種を で囲んでください。（高等学校・盲聾養護学校）

研修終了から平成18年10月までをふりかえって、次の1から5の質問にお答えください。

- 1 研修教員が研修終了後、研修の成果をその後の指導や指導力の向上に生かしているかについて、次の(1)～(3)のア～オの観点ごとにA～Dの当てはまるものを で囲んでください。なお、(1)～(3)の項目以外のことについては、(4)の 内にお書きください。

- A かなり生かしている B ある程度生かしている
C あまり生かしていない D 全く生かしていない

(1) 研修成果を生かし、学習指導力が向上したか。	
観 点	ア 年間指導計画の立案・実施 (A B C D)
	イ 教材研究 (A B C D)
	ウ 授業の基本技術 (A B C D)
	エ わかる授業の展開 (A B C D)
	オ 指導に生かす評価 (A B C D)
(2) 研修成果を生かし、児童・生徒指導力が向上したか。	
観 点	ア 児童・生徒指導の意義と理念の理解 (A B C D)
	イ 児童生徒理解 (A B C D)
	ウ 問題行動等への対応 (A B C D)
	エ 自己指導能力の向上に向けての指導 (A B C D)
	オ 組織的対応 (A B C D)
(3) 研修成果を生かし、HR・学級経営力が向上したか。	
観 点	ア HR・学級経営目標達成のための取組 (A B C D)
	イ 児童生徒との信頼関係 (A B C D)
	ウ 児童生徒相互の好ましい人間関係づくり (A B C D)
	エ 保護者との連携 (A B C D)
	オ HR・学級事務や教室環境の整備 (A B C D)

(4) その他

- 2 教職10年目研修で得られた成果や課題をもとに、現在自主研修に取り組んでいますか。

(1) A～Dの当てはまるものを で囲んでください。

- A 積極的に取り組んでいる B ある程度取り組んでいる
C あまり取り組んでいない D 全く取り組んでいない

(2) (1)でAまたはBを で囲んだ方は、どんな研修に取り組んでいるかについて、以下のア～カの当てはまるものすべてを で囲み、どのように進めているのか 内に具体的にお書きください。

- ア 学習指導 イ 児童・生徒指導 ウ HR・学級経営 エ 特別活動
オ 特別支援教育 カ その他 ()

3 総合教育センター等における研修が、職務を遂行する際に役立ったかどうかについて、(1)～(5)の項目のA～Dの当てはまるものを で囲んでください。なお、(1)～(2)については、特に役立ったものすべてを で囲んでください。

- A かなり役立っている B ある程度役立っている
C 役立っていない D あまり役立っていない

(1) 学習指導に関する研修 (A B C D)

- ア 教科別分科会 イ 公開授業A、授業研究会 ウ ビデオによる授業研究
エ 課題研究 オ 児童・生徒等による授業評価
カ その他 ()

(2) 児童・生徒指導、HR・学級経営に関する研修 (A B C D)

- ア 講話「児童・生徒指導の意義とその在り方」 イ 講話「学校における児童生徒理解」
ウ 演習「児童生徒、保護者の理解～ロールプレイングを用いて～」
エ 児童・生徒指導に関する選択研修(選択したコース: _____)
オ 地域における児童・生徒指導の在り方
カ その他 ()

(3) 社会体験等研修(研修先の業種: _____) (A B C D)

(4) 異校種体験研修(研修先の校種: _____) (A B C D)

(5) 選択研修 (選択研修名: _____) (A B C D)

4 平成17年度の校内研修では、どのような研修が有効でしたか。以下のア～スの当てはまるものすべてを で囲んでください。

- ア 公開授業と授業研究会 イ 教育相談に関する研修
ウ 児童・生徒指導に関する研修 エ 進路指導に関する研修
オ 情報機器の活用等に関する研修 カ 先輩教員等による授業
キ 課題研究 ク 管理職等の講話
ケ 教科(学習)指導に関する研修 コ 学校経営に関する研修
サ 特別支援教育に関する研修 シ 人権教育に関する研修
ス その他 ()

5 本研修の総合教育センター等における研修で、取り入れてほしい内容等があれば 内にお書きください。

ご協力ありがとうございました。11月2日までに校長に提出してください。